

# 災害や犯罪に強い 安全安心まちづくり

関西学院大学 総合政策学部

室崎 益輝

# 今日話をする事

- 安全安心まちづくりとは？
- 私たちが直面する危機・・・マルチハザード
- 危機増大の構造と要因・・・脆弱な被災基盤
- 安心のための体質改善・・・安心環境デザイン
- 災害・犯罪のない社会の展望・・・アメコミセキュリティ

# 1.安全安心・まち・づくり

- 安全安心・・・多様な危機に対応する  
自然災害だけでなく犯罪や社会災害も
- まち・・・ハードとソフトさらにヒューマンを融合  
災害に強いひとづくり
- つくり・・・内発的で地域に即した取り組み  
地域密着型の手作りの防災・防犯

## 2. リスク・・・21世紀の動向

- 2つの周期と3つの脆弱化による  
災害の多様化と巨大化が危惧される

### 2つの周期

自然の周期・・・地球は活動期

社会の周期・・・社会は風化期

### 3つの脆弱化

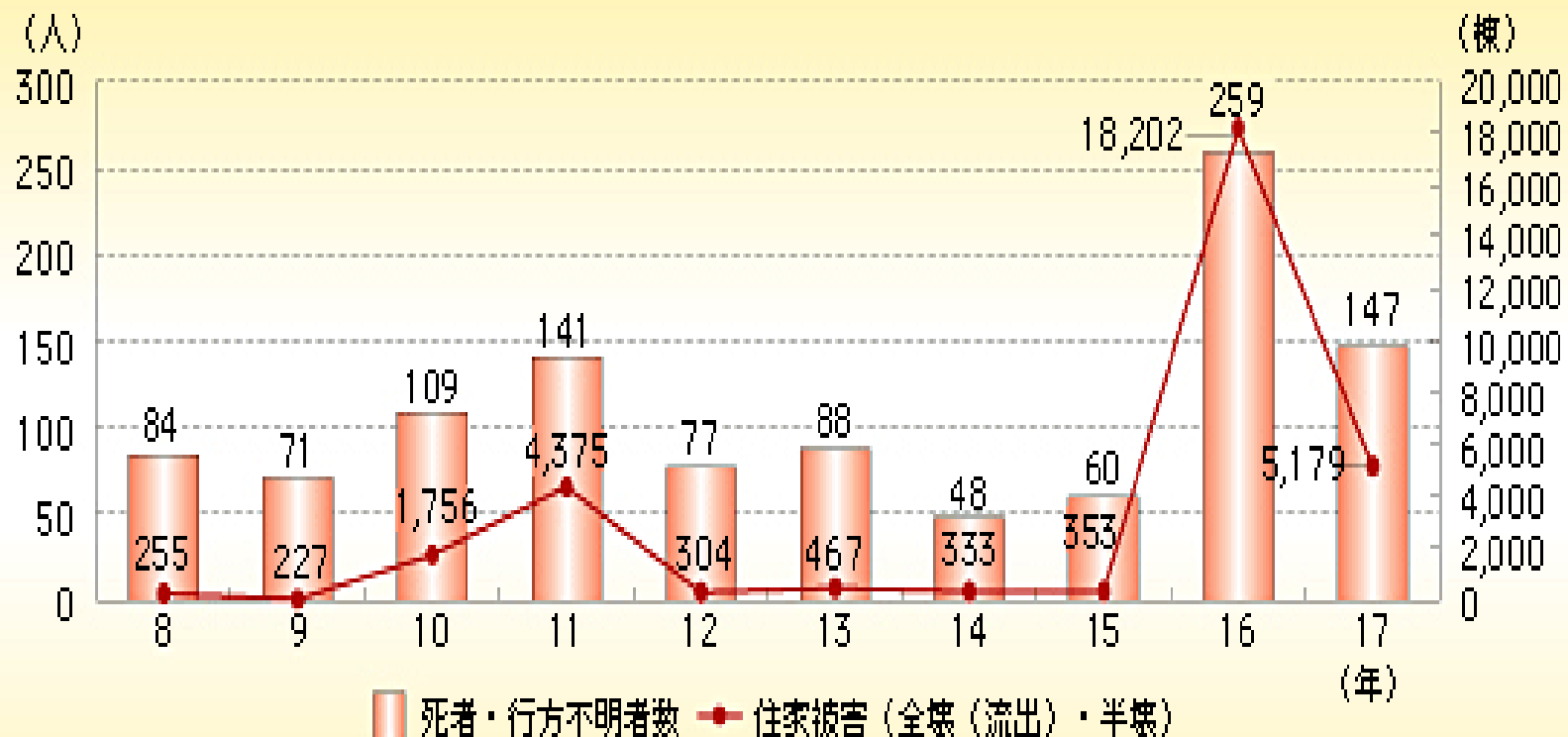
地球環境の脆弱化・・・地球は温暖化

人工環境の脆弱化・・・技術は腐朽化

社会環境の脆弱化・・・社会は弱体化

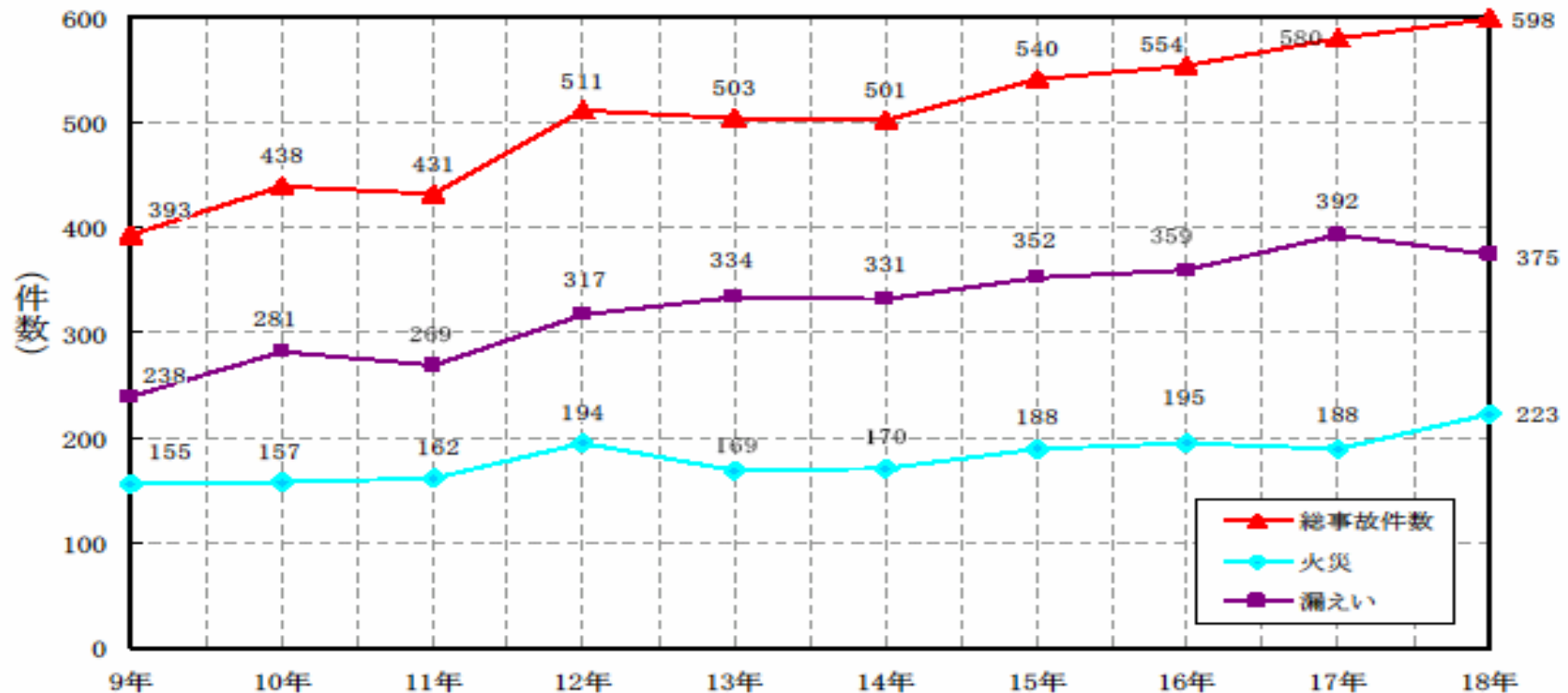
# 日本の自然災害の動向

第1-5-1図 風水害等による被害状況



(注) 1 地震、火山噴火による被害を除いた数値である。

# 日本の危険物災害の動向



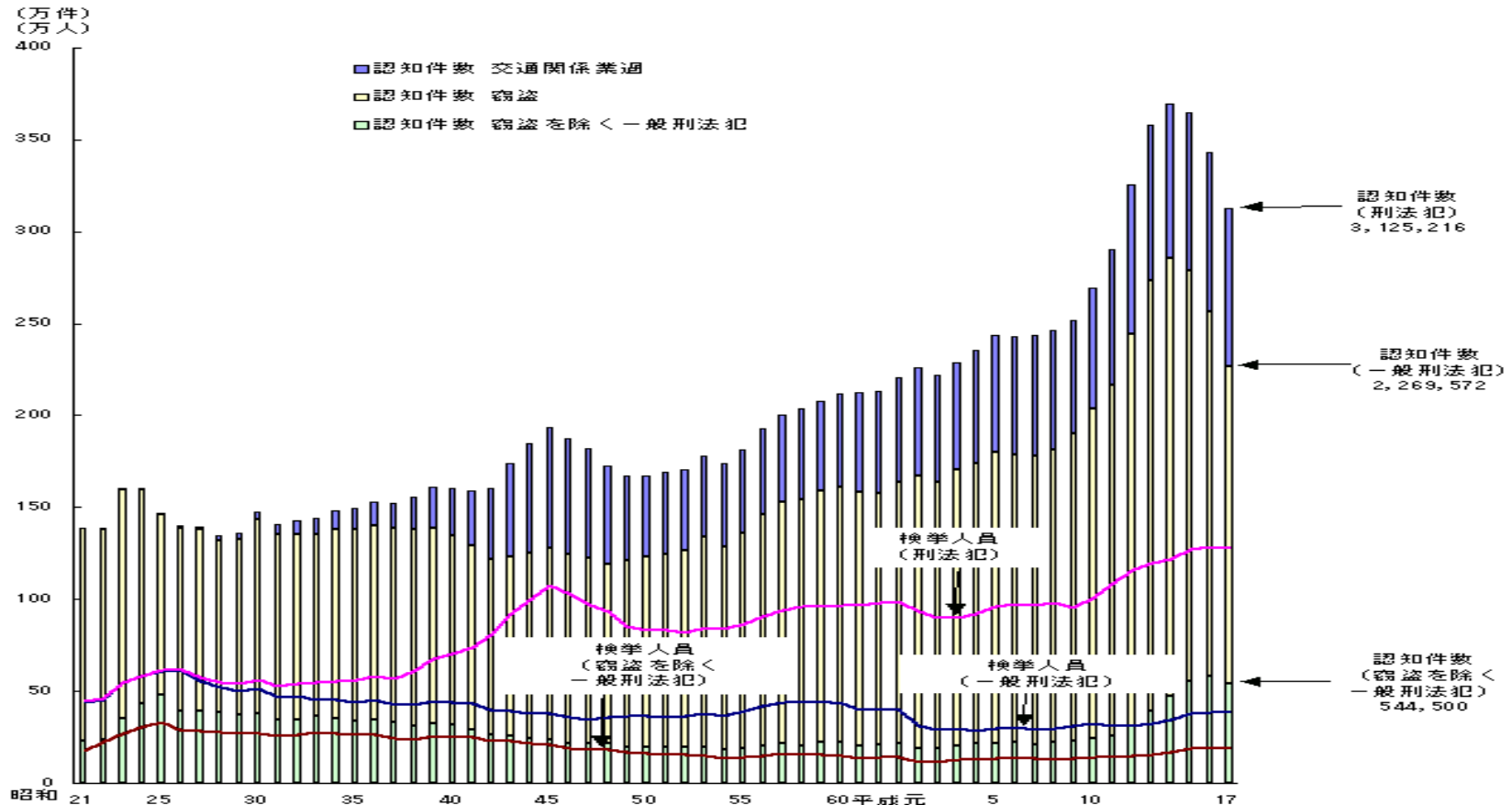
第1図 危険物施設における火災・漏えい事故件数の推移（最近の10年間）

（注）平成12年鳥取県西部地震、平成15年宮城県北部を震源とする地震及び北海道十勝沖地震、平成16年新潟県中越地震による事故件数を除く。

# 日本の犯罪(刑法犯)の動向

第1図 刑法犯の認知件数・検挙人員の推移

(昭和21年～平成17年)



注 1 警察庁の統計による。  
 2 昭和30年以前は、14歳未満の者による触法行為を含む。  
 3 昭和40年以前の一般刑法犯は、「業過を除く刑法犯」である。

# 21世紀の死亡リスク・・・推計値(1年間)

わが国の防災対策が現状のまま?? とすると

- 洪水・地滑りなど・・・200人?前後
- 地震・津波・噴火など・・・数百人
- 犯罪・・・1000人?前後
- 火災・爆発・・・2000人前後
- 日常事故・・・数千人
- 交通事故・・・数千人
- 自殺・・・3万人?前後

### 3.被災増大の要因構造

被災の多様化や大規模化は、加害側の破壊力の増大と被災側の防御力の減退の両面から説明することができる。

(1)加害側・地球環境、構築環境、精神環境の疲弊

(2)被災側・社会基盤および空間構造の脆弱性

# 被災側の社会的要因

- 災害あるいは犯罪を防ぐ社会的な力が減退している。災害も犯罪も、共通した社会的要因に支配されている。

防災意識の希薄化、災害防備の形式化、コミュニティの弱体化、人口構成の高齢化、都市施設の老朽化、などの社会的要因が、災害や危機の種別に関わりなく作用し、被災の多様化や大規模化をもたらしている。

# 犯罪の社会的要因

- 加害側に関わる要因
  - ・・貧困、ストレス、モラルハザード
- 被災側に関わる要因
  - (1)被災者・・無警戒、無防備、孤立化
  - (2)被災空間・・監視性や領域性の欠落

# 放火の社会的要因

## ■ 加害側の要因

- ・・上司の叱責・・ストレスの蓄積
- ・・お酒を一杯・・モラルハザード

## ■ 被災側の要因

- ・・ゴミ屑の放置・・維持管理の欠落
- ・・夜目・遠目・・コミュニティ監視の欠落

# 社会的要因の3類型

- ヒューマンウェアとしての意識
  - ・・油断、無視
- ソフトウェアとしてのコミュニティ
  - ・・孤立、希薄
- ハードウェアとしての空間
  - ・・老朽、乱雑

## 4.被災を如何に防ぐか

- 3つの減災文化によって被災側の要因を取り除くこと
  - (1)公衆衛生的方法
  - (2)地域密着的方法
  - (3)日常生活的方法

# 被害軽減のフレーム

- 設計論的課題

- (1)構造強度安全性・・・破壊を許さない

- (2)遮断防護安全性・・・侵入を許さない

- (3)日常管理安全性・・・劣化を許さない

- 運動論的課題

- (1)ひとづくり・・・危機に強い人をつくる

- (2)ことづくり・・・危機に強い仕組みをつくる

- (3)ものづくり・・・危機に強い装備をつくる

- (4)まちづくり・・・危機に強い空間をつくる

# 地域の減災デザイン

- 災害や犯罪に強い地域とは?
  - (1)安全に必要な空間が確保されている
  - (2)安全に必要な装備が設置されている
  - (3)安全に必要な組織が整備されている
  - (4)安全に必要な活動が展開されている
  - (5)地域の自律性、連帯性、監視性がある
  - (6)環境共生、世代交流がはかられている

# 犯罪のない社会を目指して

- 空間的監視・見通し、明るさ
- 社会的監視・人通り、パトロール、なわばり
- 空間的遮断・柵や垣根、施錠やロック
- 社会的遮断・法的強化、検挙促進
- 空間的管理・整理整頓、樹木管理
- 社会的管理・コミュニティケア